



# 健康一口メモ

仙台市医師会  
広報委員  
三浦 元彦

気管支喘息は、紀元前1500年  
にすでに治療法がエジプトのパピル  
スに記載されていたという、最も古  
くから人間を悩ませてきた病気の一  
つです。ヒポクラテスは紀元前4世紀  
に、喘息に遺伝が関係していること、  
天候や職業と関連していることを明  
らかにしました。また、2世紀のロー  
マ帝国においてギリシャ人のガレノス  
は、喘息が気道の狭窄せまらぎに由来すると  
考えました。その後2000年近く  
の間、喘息に対する考えは全く進歩  
せず、1980年代まで気管支拡張  
剤をずっと治療の中心としてまし  
た。その後ようやく、好酸球を中心  
とした気道炎症が喘息の原因である  
ことが明らかにされたのです。  
それから約40年がたち、吸入ステ  
ロイドを中心とした治療が確立さ  
れ、喘息で仕事を諦めたり、入院し  
たりする人の数も減ってきました  
が、今なお、喘息患者の約5%は、吸  
入ステロイドを含むしっかりした治  
療を受けても改善しないことがわ  
かってきました。いわゆる重症喘息  
と呼ばれる人々です。  
近年、これらの重症喘息の方に、新

## 気管支喘息ぜんそくの新しい治療法

たな治療法が示されるようになりま  
した。それが、「生物学的製剤」と「気  
管支熱形成術」です。生物学的製剤  
は、喘息の気道炎症の中心的役割を  
果たすサイトカイン(IL4・IL5・  
IL13)や抗体(IgE)に対する抗  
体を指し、今や全国で数千人の重症  
喘息患者がこの抗体製剤の投与を受  
けています。その反面、これらの生物  
学的製剤は、高額で、投与をやめると  
症状が再燃してしまうという問題も  
あります。一方、気管支熱形成術は、  
内視鏡で気道を加熱して、発作を起  
こしにくくする治療法で、こちらも限  
定的ではありますが、一定の効果が  
期待できます。  
経済的負担という問題はありません  
が、これまでどうしても改善しなかつ  
た重症喘息に治療法が提示されたこ  
とは、とても画期的で重要なことだ  
と思います。これらの治療に対する理  
解が広がることを期待しています。

〔東北労災病院／青葉区台原〕



## うれしいこと、 一緒に。

杜の都信用金庫は  
「地域社会発展のために設立された地元の信用金庫」  
としての原点に立ち返り、  
お客さまの夢の実現のお手伝いができるよう、  
“うれしいこと、一緒に。”を合言葉に、  
より良い金融サービスの提供に努めてまいります。

*Shinking with you.*

 杜の都信用金庫

